

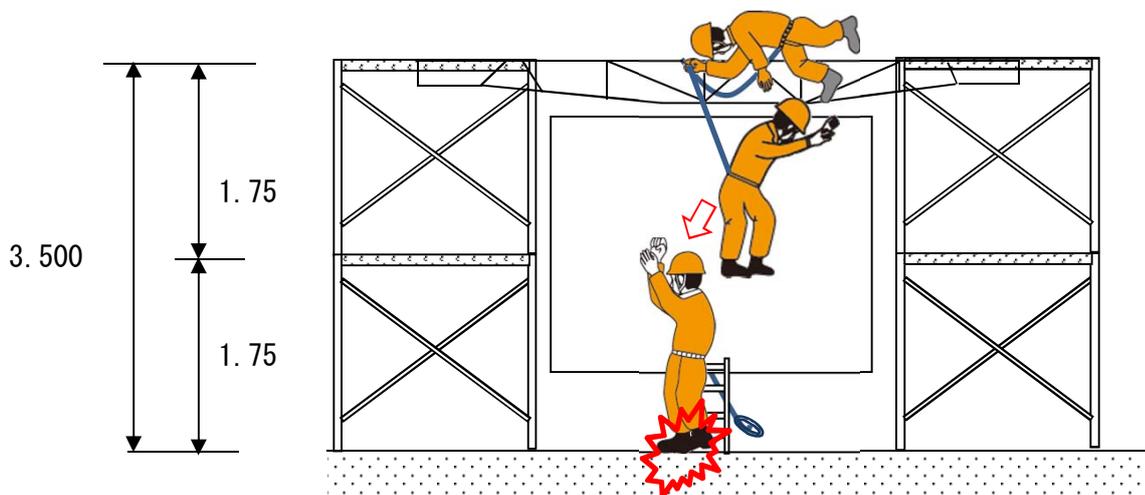
『安全帯で宙吊り状態直後、外して直下に飛び降り、足首負傷』

発 生 年 月	平成 年8月
時 刻	14:50頃
被 災 者	とび工(30歳)
傷病名・部位	左足関節内果骨折 (休業213日)

- ◎ 発生状況
1. 当日は、外部足場の解体作業を行っていたが、被災者は解体作業の中断時に、予定の作業場所に向かわず、次に解体する足場で、梁渡し部の変形部位を事前に直す作業を開始した。
 2. 変形箇所を直す際、バールに力を込めたときに体勢を崩し墜落したが、安全帯ロープにより宙吊りの状態になった。
 3. その後、安全帯フックを自分で外し直下に飛び降り(高さ1.2m)、着地が階段の控え単管であったため、足首を捻り負傷した。

◎ 被災状況

災害発生状況図



◎ コメント

- ・当災害は特殊な災害であり、結果的には労働災害となったが、安全帯をしていなければ、より重篤な災害になっていた事案であった。
- ・作業主任者及び作業衛生責任者の作業指示に従い、単独作業は行わないこと。
- ・災害、事故発生時には単独で解決しようとせず、同僚や上司に応援を求めたり、当該事案の連絡を行うこと。